

講義科目名称： 健康医療政策論Ⅱ

授業コード： 2220101400

英文科目名称： Healthcare AdministrationⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	看護師課程自由選択、保健師課程必修
担当教員			
◎麦谷眞里			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】 ◎麦谷 眞里 晴和会田上園 実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門基礎科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程、保健師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎</p>
------	---

到達目標	グローバル・レベルでの保健医療政策がどのように決定して、行われているかを理解し、その中での日本の立場と役割について学び、将来、国際分野で活躍することのできる人材になる。
授業概要	グローバル（地球規模）における国際保健の担い手とそれぞれの役割。各機関における意思決定と政策の実行について学ぶ。
授業計画	<p>1-3 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：国際レベルでの保健政策の担い手 学習内容：国際連合 WHO 世界銀行 UNICEF グローバル・ファンド ゲイツ財団など</p> <p>4-6 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：実際の意思決定過程と予算・事業の具体例 学習内容：運営理事会の構図 予算規模 事業決定の仕組み 各国との調整</p> <p>7 授業内容 授業形態：対面授業 グループワーク 学習課題：日本の役割と今後の国際保健政策 学習内容：学生による討議とディベート</p> <p>8 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：まとめと総括 学習内容：学生によるプレゼンテーション</p>
事前・事後学習	事前学習：授業課題に関連する資料（ニュース等含む）を熟読・視聴しておく。 事後学習：授業で取り上げた事例の解決方法について考察し自分の考え・意見について整理する。
評価方法、評価基準	筆記試験 50% グループワークとプレゼンテーション 50%
必携図書	特になし
参考図書・資料等	特になし
受講、課題、資料配布等のルール	授業はすべてパワーポイントで行ない、パワーポイントのスライドは、講義当日もしくは講義後に印刷して配布する。
教員からのメッセージ	将来、国際レベルで活躍できるような人材に育てて欲しい。また状況に応じて国際機関での勤務経験のある霞が関の官僚を招聘してゲスト講師とする。
オフィスアワー	